

研究主題：主体的、対話的で深い学びの実現を目指して（3年次）

～TANKYU～

谷地南部小学校
校内研究だより
2023. 5. 1
No.6 文責 荒木秀

何を研究しますか？

以前の通信で、題（↑）をあえて疑問形にすることで、先生方に興味を持って読んでもらうようにしていると書いたことがあります。「どうして、～？」「なぜ、～？」これが、探究のスタートですよね。

【探究のサイクル】課題設定→情報収集→整理分析→まとめ・表現

私は、授業も同じなのではないかなと考えています。授業の冒頭もしくは単元の冒頭で、いかに子どもたちが興味を示す「？」をもてるようにするか。これで授業の7、8割は決まるのではないかと個人的には思っています。

さて、今年度から取り組んでいただく学校研究としての「個人研究」も、ぜひ同じように進めていただきたいと思います。先生方の今頭の中にある「？」は何ですか？ただし、子どもたちのような「どうして～？」「なぜ～？」という文脈には当てはめない方がいいように思います。「どうして、子どもたちは〇〇できないのか？」「なぜ、私の〇〇はダメなのか？」とマイナスになりがちだからです。

もちろん現状や課題としてマイナスな面を確認することは大事ですが、テーマは前向きにいきましょう。何てったって「楽しい学校」を谷地南部小は目指しているのですから。ぜひ、「どうしたら～？」や「どのように～？」「〇〇するためには？」を考えてみましょう。

研究全体会でも、お話をした「個人研究」の先進校（東京都東村山市立青葉小学校）のテーマを裏面に載せておきます。ぜひ参考にしてみてください。もし困ったときには、いつでもご相談ください。

それでは、GW明けに、みなさんの「やってみたい」がつまったテーマを聞かせていただけることを楽しみにしています。どうせやるなら、楽しくやりましょう。でも、ほどほどに。

2018 校内研究「進んで学ぶ子の育成」

課題（テーマ）

「支持的風土のある学校・学年・学級づくり」

副校長としての「進んで学ぶ子の育成」とは

自信をもって自分を表現できる子の育成

主体的・対話的に学べる授業づくり

児童の「自己教育力」を高めるための授業づくりと支援の手立て

ストレスフリーな授業づくり

児童に自信をもたせる授業づくり

「児童が思わず話し出す授業の工夫」

「すすんで学ぶ」授業の形式の模索

「外国語を楽しく表現する学習形態の工夫」

「アクティブラーニングを取り入れた指導法の工夫」

「児童が友達と共に学び、自ら学ぼうとする意欲を高める授業の工夫」

体育を生かし、自主的に行動できるような学級づくり

「内発的動機付けを高める指導と評価の工夫」

主体的に活動できる授業づくり

「自分の考えを持ち、表現する児童の育成」—書く活動を通して—

「全生園」を通した人権学習

「自己解決・自己取組」考える力

「外国語を学ぶことに楽しみを見出せる学習」

「主体的・対話的な学びを目指した学習活動の工夫」

「安心して学校生活を送るための、自己認知を育む授業づくり」

「個に応じた指導方法」

「特別支援教室での指導の研究～日常生活への般化を視野に～」

〇くんが自分の気持ちを言葉で話せるようになるための支援

いい音みつけて 表現できる子

高学年が思いをこめて描ける平面作品

学んだことを進んで家庭生活に生かそうとする児童の育成

「心と体のつながりに気づかせる健康相談活動」

人とかわかり、主体的に学ぶ子を育てる算数の授業づくり

青葉小学校 2018 年度個人課題一覧

伊藤大介 他（2022）『校内研究を育てる—その学校ならではの学びを求めて—』，創風社。）